



2020 3月号

国際会長主題 より良い明日お為に今日働く
 アジア会長主題 アクション
 東日本区理事主題 勇気ある変革、愛ある行動！
 富士山部長主題 共に歩もう、素晴らしきワイズ
 富士会長主題 広げようワイズと私

第32期クラブ役員

会長 吉澤 廣美 書記 高野 亨
 A副 高野 亨 会計 小澤嘉道
 B副 監事 増田 隆
 監事 漆畑義彦

2020年3月例会案内

日時 2020年3月11日(水) 18時30分
 場所 ホテルグランド富士
 受付 市川文彦君・井上暉英君
 司会 高野 亨君

1. 開会点鐘 吉澤廣美会長
1. 開会の辞 高野 亨君
1. ワイズソング、ワイズの信条 司会
1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和司会
1. 会長挨拶 吉澤廣美会長、
1. ゲスト、ビジター紹介 吉澤廣美会長
1. 食前の感謝 漆畑義彦君
1. 櫻村好夫ワイズを追悼して、各自思い出を話す
1. 書記・会計・事務局報告
1. 出席率・スマイル報告
1. 閉会の辞 仲澤昭夫
1. 閉会点鐘 吉澤廣美会長
1. 追伸 追悼用食事と遺影に飾る花を用意

京都エイブルクラブ30周年報告

2020/2/18 高野 亨

2020年2月15日(土)に京都ホテルオークラにおきまして、私どものDBCクラブの京都エイブルワイズメンズクラブ設立30周年記念例会が行われました。総勢207名の出席者で盛大に催され、富士クラブより8名が登録参加させて頂きました。まず、記念講演としまして菊山紀彦氏(種子島宇宙センター所長・筑波宇宙センター所長として宇宙飛行士の訓練、国際宇宙ステーションの製作に携わった)による「国際宇宙ステーションの世紀」～守ろう地球、めざそう宇宙～の貴重な講演内容のお話しを、興味深く参加者の皆が聞き入っておりました。記念例会の終了後にはホテルオークラの17階のスカイラウンジで京都のすばらしい夜景を満喫しながら、エイブルクラブの皆さまとお酒を酌み交わしながら、交流を深めることができました。富士クラブの参加者は1泊しまして、2月16日の日曜日は京都観光をしました。ジャンボタクシーで清水寺、伏見稲荷、東福寺、月桂冠大倉記念館と散策し、昼食は大正2年に建てられた酒蔵を改装した、月の蔵人という懐かしい落ち着きがある雰囲気の中でゆっくり楽しく食事とお酒を頂きました。今期は東日本区大会も北海道ですので、皆で行くのを楽しみにしております。

在席数	出席数	スマイル
会員	15名	11名
功労会員	1名	2月
連絡主事	1名	11,000円
ビジター	名	累計
ゲスト	名	89,000円
合計	14名	CS基金
出席率	79%	先月累計
		2,695円
		1月
		1,260円
		累計
		3,955円



思い出





樫村ワイズの思い出

井上 暉英

内科医師としての樫村ワイズとの思い出は、いちワイズメンバーとしての仲間メンバーとしての意識以上に常に尊敬と敬服の存在でありました。その意識は私自身まだ42歳の動物病院もなんとか自立できた頃で、先生から色々な医学知識の教えを被り動物治療に役立つことができました。当時富士山部では樫村ワイズだけがドクターで、熱海東京と色々な場所にでかけるたびに、また先生の自宅での集まりと そのたびに色々知識の向上を意識し貴重な経験をさせていただきました。富士クラブも当時はだれもまだ若くその向上心は常に誰もが意識し本当に楽しい時間を過ごすことができ、懐かしいです。当時の気持ちが今現在あまり持ち合わせることができず、年をしつかり感じる今日この頃です。樫村先生のご冥福を祈ります。

樫村好夫ワイズへ 高野 亨

私たちの前で樫村好夫ワイズが、奥様の弘子ワイズが亡くなられてから、「やっぱり、さみしいね・・・」と、語られているのを、何回も聞きました。私の臉には、お二人が本当に仲良く、ワイズメンズクラブのイベントの例会や部会をはじめ、東日本区大会等、いつでも、どこでも樫村先生が奥様の手を引かれて、歩いている光景が焼き付いて離れません。きっと、今でも、お二人仲良く、腕を組んで歩いてられると思います。

「先生、奥様、本当にお世話になりました。有難うございました。」

ワイズ起て

増田 隆

2月の例会、そして役員会は何となく「気の抜けたビール」のような雰囲気の中で淡々と議事が進行し終了しました。それもその筈、榎村好夫ワイズがいつもの席にいません。欠席ではなくこれからもずっと、そして永遠に。非常に寂しい事です。しかしこれが現実です。榎村ワイズとは同じチャーターメンバーでしたが、私は常に末席で何も出来ないメンバーでした。欠席がちの私にいつもニコニコ笑顔で接して頂いて、本当に救われました。温厚で落ち着いたそして紳士的な振る舞いは富士クラブの鑑でした。一番の思い出は何と言っても1999年6月に開催された、榎村ワイズが実行委員長を務めた「新さくら丸」船上での第2回東日本区大会でしょう。「ワイズ起て」のスローガンの下、東日本区、他より約500名（内富士クラブはメン、メネット合計51名参加）が富士市に集い区大会終了後、駿河湾クルージングで全国のワイズメンが友好と親睦を図り、満天の星空を仰ぎ明日のワイズを熱く語り合いました。富士クラブが第2回東日本区大会を引き受けてからは榎村実行委員長の下、それこそ毎週会議、会議の連続でした。時には東京の晴海ふ頭まで出かけて新さくら丸の船内のレイアウトを確認、それを基に大会のプログラムを策定し、調整、リハーサルなどを夜遅くまで作業したことが昨日の出来事のように思い出されます。これも榎村ワイズの誠実さと実行力によるリーダーシップが富士クラブのメンバーにやる気を与え「ワイズ起て」のスローガンを全員が共有してあのような大きな事業を成し遂げられたものだと思います。東日本区理事や富士山部長を務められた榎村ワイズの存在は偉大なものがありました。榎村ワイズが今ここにいないことは富士クラブにとって扇の要を失ったようです。しかしいつまでも喪

榎村先生の思い出

ドライバー委員長仲澤昭夫

榎村先生と親しく話をしたのは、茶房かしむらの上棟式後の懇親会でした。入会を誘われてから暫くしてからのことだったと記憶しています。私は若いころから中央病院の先生方と飲む機会があり、彼達の狷介孤高な、謂わば一国一城のあるじ的な気質に接していました。しかし榎村先生は正反対の穏やかで静かな英国のジェントルマンを思わせる人柄でした。それから三十年近くお付き合いさせて頂きました。先生は持ち前の俊足で学生時代はラグビーの選手として活躍しました。そのうえ専門の医学の事は言うまでもありませんが歴史、文学など、文化的な事にも詳しい人でした。昔は大塔宮護良（もりなが）親王と教わっていたが最近（もりよし）親王と呼ぶ学説が有力だとか、「馬鹿だ馬鹿だよ二本松は馬鹿だー」の里謡の言われもご存知でしたし、正倉院御物展には欠かさず出かけて行くなど、文武両道の最たる理想的な人でした。沢山の事を教えて頂いて感謝しています。先立たれた奥さんのもとで天国でも理想的な御夫婦と成っているでしょう。もうそう遠くない時期に我々もそちら側に行きます。その時にはまた色々教えてください。合掌

金井 敦

4年前、富士山YMCAに転勤となり、富士ワイズメンズクラブの一員として招いていただき、前任の三上さん、当時上司の森田さんとともに参加した3月の例会のときに、様々なお話をいただいたことを覚えています。その後も、私自身が連絡主事として不慣れながらも、多くのことをお話しくださり、教えていただきました。感謝祭の際にYMCAにお越しいただいたときに、奥様と連れだって草原を歩いていらっしゃる姿は今でも忘れません。

樫村ワイズ思いで

岩辺 富雄

私が会長の時、東日本区大会が岩手県の花巻で有りました。やはりその時は先生の故郷の近くで何かそわそわして楽しそうでした。夜出掛けまして朝早い時間に温泉スパに寄った時など、一番にも起きてお風呂に入ったのではないかと思います。花巻に着き大会も無事終わり観光に回る時など、先生のお膝元で有りますので、藤原家三代の平泉中尊寺に寄った時などバスの運転手よりも案内に詳しくそうでした。またわんこ蕎麦によった時などお店に詳しく美味しい店で楽しく食事をさせて頂きました。又東日本大震災で被災して松野来て学習塾をしています堀川様が卓話に来て頂きました時など、自分が被災したような想いで接して優しい心の先生だと思いました。

樫村好夫ワイズの思い出

吉澤廣美

樫村ご夫妻と例会などへ出掛けるときは私が迎えに行き、行き帰りをご一緒させてもらい、車中でいろいろなお話をさせて頂きました。

安積高校へは最寄り駅が遠く、10 km以上の距離を、生徒たちは一か所に集まり歩いて通い、往復20 km以上は毎日歩いていたそうです。びっくりしました。そのせいか40年以上も1万歩のウォーキングは欠かしませんでした。また、麻酔医の資格も取っておられ、富士市には麻酔医が少なかったため、他医院の手術時に度々呼ばれていたそうです。いろいろな知識をお持ちな温厚な先生でした。ありがとうございました。

先生のおもいで

2020年2月27日

小澤嘉道

先生はいつも穏やかに笑顔で話しかけてくれました。先生が突然怪我で入院されお見舞いに行った時の事、僕は眠り続ける先生の耳元で「先生！小澤ですよ！わかりますか！？」と大きな声で2回ほど叫びましたが表情は変わりませんでした。それから数日後先生はお亡くなりになりました。もっと先生のお話を聞きたかった。でも、今頃、奥様と天国でお会いしてホットしているだろうな。ありがとう先生。

感謝と共に

鈴木靖巳

入会以来、樫村さんと呼んだ事はありません30有余年全てのメンバーが「先生」と気軽に普通に呼んできたと思います。私もチャーター以来いつもそうでした。目を閉じて先生との30年間の感謝を込めて思い出してみたいと思います。設立して初めての北海道での日本区大会に参加して札幌の夜遅くまでの大宴会、二次会と先々でのご夫妻の気づかいにただただびっくりし深く記憶がよみがえり思い出されます。

(1) 楽しくみんなで一緒にとクラブのためにワゴン車を購入しどこへ行くにもメンバー交代で運転し初例会、記念行事、部会に参加し樫村号ワゴン車なくしてクラブの諸行事を語ることはできません。そして事務局、倉庫の提供はクラブの発展に大きく寄与して下さいました。

(2) 何よりも脳裏の深く残っているのは新さくら丸での第2回東日本区大会を先生を中心に富士クラブが開催したことです。当時会場探しに難航しているなか先生の発案でホテル機能が全て完備し会議、大会、晚餐会とそして駿河湾クルージングと云うエクスカッション付き客船での田子の港発着で実行されたことです。メンバー誰もがこの大会が計画実行開催あたり成功するかどうか不安を抱く中「命までもとられない」と云う名言の

もと未だかつてない大事業を成功に導いたことです。

「今集い、新しいいぶき富士のふもとで」

「築こう、Y,sの大きな輪」

「楽しくやろう、みんなのワイズ」

樫村魂は永遠に不滅です。

故 櫻村好夫ワイズを偲んで

櫻村先生には大変御世話になりました。公私ともにご指導を頂き、本当にありがとうございました。富士クラブにとって、富士山部にとって、東日本区にとって大事な宝を失ったと思います。残念です。先生を失った富士クラブは今後全力でスクラムを組んで行動するしかありません！私も富士クラブのメンバーとして努力したいと思います！櫻村好夫ワイズ、本当にご苦労様でした。

菊池初彦

あれもこれも一緒にやった
Y s 活動の一つ一つが走馬燈
のように浮かぶ・・・

思い出はつきない。寂しい。
生き方を学ばなくてはと思う
が足元にも及ばない。

メンバーの力を結集してクラ
ブを存続発展させなくてはな
らないと思う 漆畑



富士山 YMCA たより

富士山 YMCA はじめ、全国の YMCA では、世界的ないじめ反 対運動「ピンクシャツデー」に取り組んでいます。カナダでピンクのシャツを着てきた男の子が「ゲイ」だといじめられたときに、その友人たちがみんなピンクのシャツを着て、いじめをなくしたというエピソードがきっかけです。YMCA でも毎年 2 月の最終水曜日（2020 年は 2 月 26 日）のピンクシャツデーに合わせて、スタッフや会員、子どもたちがピンク色のものを身につけ、いじめ反対をアピールするとともに、一人一人にできることを考えます。皆様も、ご家庭などでピンクのものを身につけ、いじめについて考えてみませんか？

（富士山 YMCA ではピンクのものを身につけ、いじめ反対をアピールする写真を募集しております。メールでお寄せください。ホームページなどで紹介いたします。）

